

参考3: 紅色陰癬 erythrasma と黄菌毛 trichomycosis palmellina

紅色陰癬は、陰股部、腋窩、第四趾間などの湿潤部に生じ、やや隆起する境界鮮明な紅色局面で、靴糠様落屑が付着する。痒み、灼熱感を伴う。*Corynebacterium minutissimum* などの蛍光性 *Corynebacterium* 感染が原因である。ウッド燈照射で皮膚部が蛍光を発する。落屑中に Gram 陽性桿菌を認める。黄菌毛は腋毛、陰毛に黄褐色・黄白色のコロイド様物質が付着して毛が膨化したように見える。*C. tenuis* 感染が原因である。多汗、不潔が要因で、青年期に好発する。いずれも皮膚常在菌叢のバランス変化による病変である。

参考文献

- 1) von Lichtenberg, F.: Tetanus. Infectious Disease. Robbins Pathologic Basis of Disease, 4th

ed. (Cotran, R. S., Kumar, V., Robbins, S. L. eds.), W. B. Saunders, Philadelphia, 1989, 358-359

- 2) 竹田美文, 本田武司(編): 毒素産生菌とその感染症, 医薬ジャーナル社, 大阪, 1998
- 3) Diphtheria Endemic. New Independent States of the former Soviet Union, 1990-1994. MMWR 1995, 44: 177-181
- 4) Tamaoki, N., Yoshimura, S., Akatsuka, A.: Histochemistry of bungarotoxin binding sites at electron microscopic level. Acta Histochem Cytochem 1982, 15: 592-599
- 5) 細谷安彦: コレラ毒素 B をつかった神経標識法, 組織細胞化学 1997(日本組織細胞化学会編), 学際企画, 東京, 1997, pp.179-186
- 6) 渡辺治雄: ペスト. 知っておきたい現代感染症事情 1(中山宏明, 多田 功, 南嶋洋一編), 医歯薬出版, 東京, 1999, 8-15

コラム

ペスト菌の学名

1894年(明治27年)4月, 香港の街に突如ペストが流行した。内務省は急遽, 犬猿の仲にある帝国医科大学長, 青山胤通と伝染病研究所長, 北里柴三郎に6名を加えた調査団派遣を決定した。6月12日に猛暑の香港に到着した一行は, 病院にあふれかえるペスト患者を目の当たりにする。青山率いる臨床研究班が「ふわけ」を担当し, 北里斑がペスト菌の培養を行った。フランスからはエルザン Yersin が香港に到着していた。青山は2週間で18例の剖検を行い, エルザンと張り合った北里はペスト菌の純粋培養に世界で初めて成功した。北里の助手だった石神亨と青山がペストにたおれたのは晩餐会が予定されていた6月28日だった。二人の病勢は3週間後ようやく峠を越えた。その間, 北里はペスト菌発見の第一報を内務大臣に送り, 福沢諭吉の派遣した船に乗って先に帰国した。8月11日には, 香港政庁の伝染病担当医師, ローソンが「北里が香港でペスト菌を発見」という速報をランセット誌に掲載した。エルザンがペスト菌培養に関する論文を発表したのは北里よりもあとのことだった。

北里の業績に難癖をつけたのは大学派だった。北里をはじめ, ペスト菌をグラム陽性と記述し, のちに誤りを認めて訂正した。復活した青山は, 北里のペスト菌発見を疑問視するドイツ語論文を発表した。つづいて, 大学の緒方正

規と山際勝三郎が北里のグラム陽性菌は誤りと報告した。緒方正規の「脚気菌」を北里が批判したこと, 当時北里が縦横無尽に活躍していたコッホ研究室への留学を山際が断られたことへのしっぺ返しだったようだ。青山は, 大隈重信首相の後押しを得て, 伝染病研究所の管轄を内務省から文部省へと変更するよう図り, 1914年(大正3年)10月に移管がついに実現した。伝染病研究所を辞した北里が「北里研究所」を創立したのは, 翌1915年12月11日(恩師コッホの誕生日)だった。1917年, 66歳の北里は新研究所を母体に, 慶応大学の医科を再興した。そしてその年, 58歳の青山が食道癌で死亡した。北里は1935年(昭和6年)6月に脳溢血で他界した。79歳だった。第二次大戦後, 伝染病研究所は東大医科学研究所へと看板を改めた。北里が設計した正門から本幹までのカーブを描くアプローチは往年のまま残されている。そして, *Pasteurella pestis* とよばれたペスト菌が第二の発見者エルザンの名をとって *Yersinia pestis* と改名されたのは1970年代だった。ペスト菌の学名をみる限り, 東大一派のアンチ北里戦略は成功したように見える。

(参考書: 篠田達明著「闘う医魂. 小説・北里柴三郎」, 文芸春秋, 1994)